



知っていますか？

女子差別 撤廃条約

5 GENDER
EQUALITY



女子差別撤廃条約とは

正式名称

「女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約」

女性・女児に対するあらゆる形態の差別を撤廃することを基本理念とした条約。条約の締約国は、政治的、経済的、社会的、文化的、市民的その他のあらゆる分野における女性に対するすべての差別を禁止する適当な立法その他の措置をとること等が規定されている。

条約の締約国：189カ国（2024年9月）

女子差別撤廃条約のあゆみ

【条約の採択、発効】

1979年 第34回国連総会において採択
1981年 発効

【日本の署名・批准】

1980年 署名
1985年 第102回通常国会において
本件条約締結を承認
1985年 批准

【女子差別撤廃条約選択議定書】

1999年 第54回国連総会において採択
2000年 発効

報告書と女子差別撤廃委員会

条約は、締約国に対して4年ごとに、条約の実施のためにとった措置について報告書の提出を求めています。

女子差別撤廃委員会は、各国の報告書を検討し、不十分な点については勧告などを行います。政府報告書の作成などに当たっては、NGOとの対話が行われています。



女子差別撤廃条約選択議定書

1999年には条約の選択議定書が採択されました。

この選択議定書は、条約に定められている権利の侵害を、個人等が女子差別撤廃委員会に通報し、この通報を委員会が検討の上、委員会としての見解を締約国に通知する制度、いわゆる個人通報制度を定めたものです。

日本は、この選択議定書を締結していません。



条約締結後、日本は...？

日本は、女子差別撤廃条約を 1985 年に締結しましたが、締結に当たり、男女雇用機会均等法を制定するなど、国内における実施体制が整えられました。

その後も、男女共同参画社会基本法を制定するなど、様々な取組を行っています。





【参考資料】

- ◆内閣府男女共同参画局HP
「女子差別撤廃条約」

[https://www.gender.go.jp/international/
int_kaigi/int_teppai/kjoyaku.html](https://www.gender.go.jp/international/int_kaigi/int_teppai/kjoyaku.html)

- ◆内閣府男女共同参画局HP
「女子差別撤廃条約紹介DVD内容」

[https://wwwc.cao.go.jp/lib_008/teppai/
jyosisabetsu_300k.html](https://wwwc.cao.go.jp/lib_008/teppai/jyosisabetsu_300k.html)